



外務部は、日本の利益を損ねない限り、一切の要求を認めない。と、断言した。

日清戦争後、清国は、列強の侵襲に苦しんで、自らを救済すべく、改革を志した。その結果、清国は、漸く近代化を遂げ、国際社会に自立した国として認められるに至った。

この結果、列強は、清国の改革を認め、清国との関係を正常化するに至った。これは、清国にとって、非常に重要な出来事であった。

清国は、この改革を通じて、自らを救済し、国際社会に自立した国として認められるに至った。これは、清国にとって、非常に重要な出来事であった。

この結果、列強は、清国の改革を認め、清国との関係を正常化するに至った。これは、清国にとって、非常に重要な出来事であった。